

CSポートフォリオ (詳細版) 作成・活用の手引き

※本資料では、法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会
および学校運営協議会が置かれた学校をコミュニティ・スクール（以下、CS）と表記しています。

Ver. 1（令和5年3月版）



目次

I.	CSポートフォリオ（詳細版）の構造	・ ・ ・ ・ 2
II.	アンケート調査の実施	・ ・ ・ ・ 8
III.	CSポートフォリオの作成	・ ・ ・ ・ 19
IV.	CSポートフォリオの完成	・ ・ ・ ・ 29
V.	結果の読み取り方	・ ・ ・ ・ 36
VI.	読み取りのワーク①	・ ・ ・ ・ 40
VII.	読み取りのワーク②	・ ・ ・ ・ 44
VIII.	おわりに	・ ・ ・ ・ 49

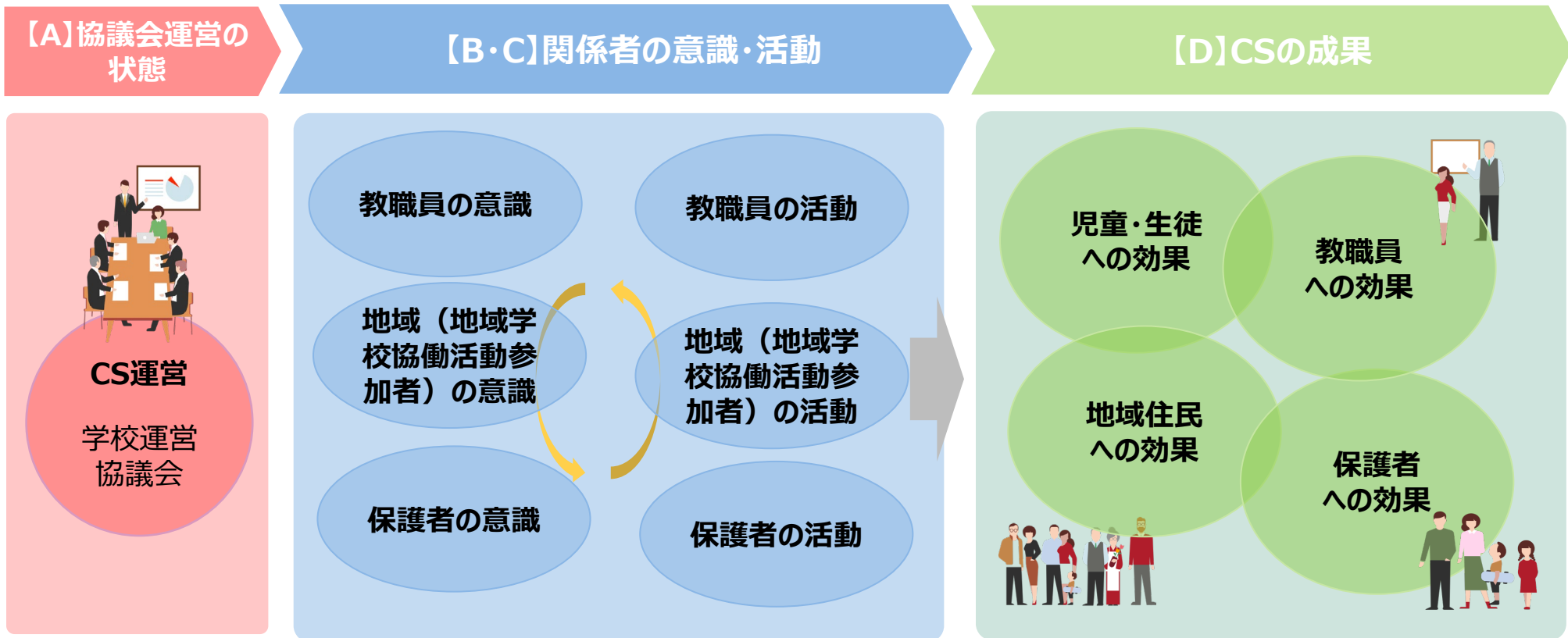


CSポートフォリオ (詳細版) の構造



CSの成果発現までの構造化（全体像＝詳細版の構造）

- ✓ CSで期待される多様な成果・目標（D）に関する指標として「関係者の意識・活動」（B・C）を位置づけ、また、それらと関係する「協議会運営の状態」（A）を明確化
→A～Dのつながりを考えることによって、成果改善に向けた「次なる一手」の手がかりが得られる



アンケート調査の構造

- ✓ 先の構造に基づいて設定した指標について、CS関係者（協議会委員、教職員、地域住民、保護者、児童・生徒）に対するアンケート調査を行います。

5 つの主体 × **3** つの要素 でアンケート項目を構成しています。

	協議会委員	教職員	地域住民	保護者	児童・生徒
CSの効果	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域への愛着の高まり ・授業負担の減少 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域への愛着の高まり ・貢献・生きがいの実感 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域への愛着の高まり ・貢献・生きがいの実感 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の向上 ・地域への愛着・貢献意識の向上 ・学校・教職員・地域との関係性
関係者の意識・活動	—	<p>意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域とともにある学校」という認識 など <p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における地域・保護者との連携 など 	<p>意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域とともにある学校」という認識 など <p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動への参画 など 	<p>意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域とともにある学校」という意識 など <p>活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育活動の実践 など 	—
協議会運営の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・自律性 ・対等性 ・持続性 ・熟議度 ・実行性 ・共有性 <p>(※内容は後述)</p>	—	—	—	—



【参考】アンケート調査の構成要素

✓ 「協議会の運営」指標は、以下の6つの要素にて構成されています。

自律性

【構成要素】

- ・法定3権限の有無
- ・法定3権限の適切な運用

(法定3権限を有しているか等、協議会として自律的に議論する機能があるかを測る指標です)

熟議度

【構成要素】

- ・企画段階からの協議
- ・見直しが許容される協議
- ・内省・評価の実施・反映

(議題の確認や承認だけではなく、時に見直しを行うなど、深い議論ができていないかを測る指標です)

対等性

【構成要素】

- ・関係主体の関係性
- ・議論の対等性

(協議会参加者の間で、対等な議論ができていないかを測る指標です)

実行性

【構成要素】

- ・学校長の主導的役割
- ・実行を見据えた役割分担
- ・教職員との協力・連携

(協議会で決まったことが、実行までつながっているかを測る指標です)

持続性

【構成要素】

- ・協議会の目的・目標の共有
- ・持続的な議論体制

(教職員の異動に関わらず、持続的に議論ができる体制になっているかを測る指標です)

共有性

【構成要素】

- ・多様な主体の巻き込み
- ・情報の共有
- ・協議会からの情報発信

(協議会の協議事項が、周知・共有されているかを測る指標です)



【参考】アンケート調査の構成要素

- ✓ 「関係者の意識・活動」指標は、教職員・地域（協働活動参加者）・保護者の3者について、以下に示す要素にて構成されています。

教職員の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・協議会の意義の理解

教職員の活動

【構成要素】

- ・授業における地域住民・保護者との連携
- ・生徒指導・生活指導における地域住民・保護者との連携
- ・地域住民・保護者との交流

地域の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・地域ぐるみの教育活動への理解

地域の活動

【構成要素】

- ・学校の教育活動への参画
- ・教職員・地域住民・保護者との交流
- ・地域教育活動の実践

保護者の意識

【構成要素】

- ・「地域とともにある学校」という認識
- ・地域ぐるみの教育活動への理解

保護者の活動

【構成要素】

- ・学校の教育活動への参画
- ・教職員・地域住民・保護者との交流
- ・家庭教育活動の実践



【参考】アンケート調査の構成要素

✓ 「CSの効果」指標は、教職員・地域（協働活動参加者）及び保護者、子どもの4者について、以下に示す要素にて構成されています。

教職員への効果

【構成要素】

- ・学校・地域への愛着の高まり
- ・保護者・地域住民への信頼の高まり
- ・授業負担の減少
- ・授業力の向上
- ・生徒指導・生活指導の負担の減少
- ・保護者対応の負担の減少

子どもへの効果

【構成要素】

<資質・能力の向上>

- ・自己肯定感
- ・規範意識・行動
- ・やり抜く力
- ・ソーシャルスキル
- ・学習意欲
- ・キャリア意識

<地域への愛着・貢献意識の向上>

- ・地域への愛着の高まり
- ・地域への帰属意識の高まり
- ・地域貢献意識の高まり

<子どもが享受する機会の変化>

- ・学校での地域との関わり
- ・地域における大人との関わり
- ・地域における異年齢の関わり
- ・保護者との関わり

<学校・教職員・地域との関係性>

- ・教職員への関心・信頼の向上
- ・学校への愛着・誇りの高まり
- ・地域の大人への関心・信頼の向上

地域への効果

【構成要素】

- ・学校・地域への愛着の高まり
- ・学校への信頼の高まり
- ・貢献・生きがいの実感
- ・生涯学習意識の高まり
- ・地域内でのソーシャルキャピタルの醸成
- ・地域の担い手意識の高まり

保護者への効果

※地域（協働活動参加者）と保護者の効果指標は共通です



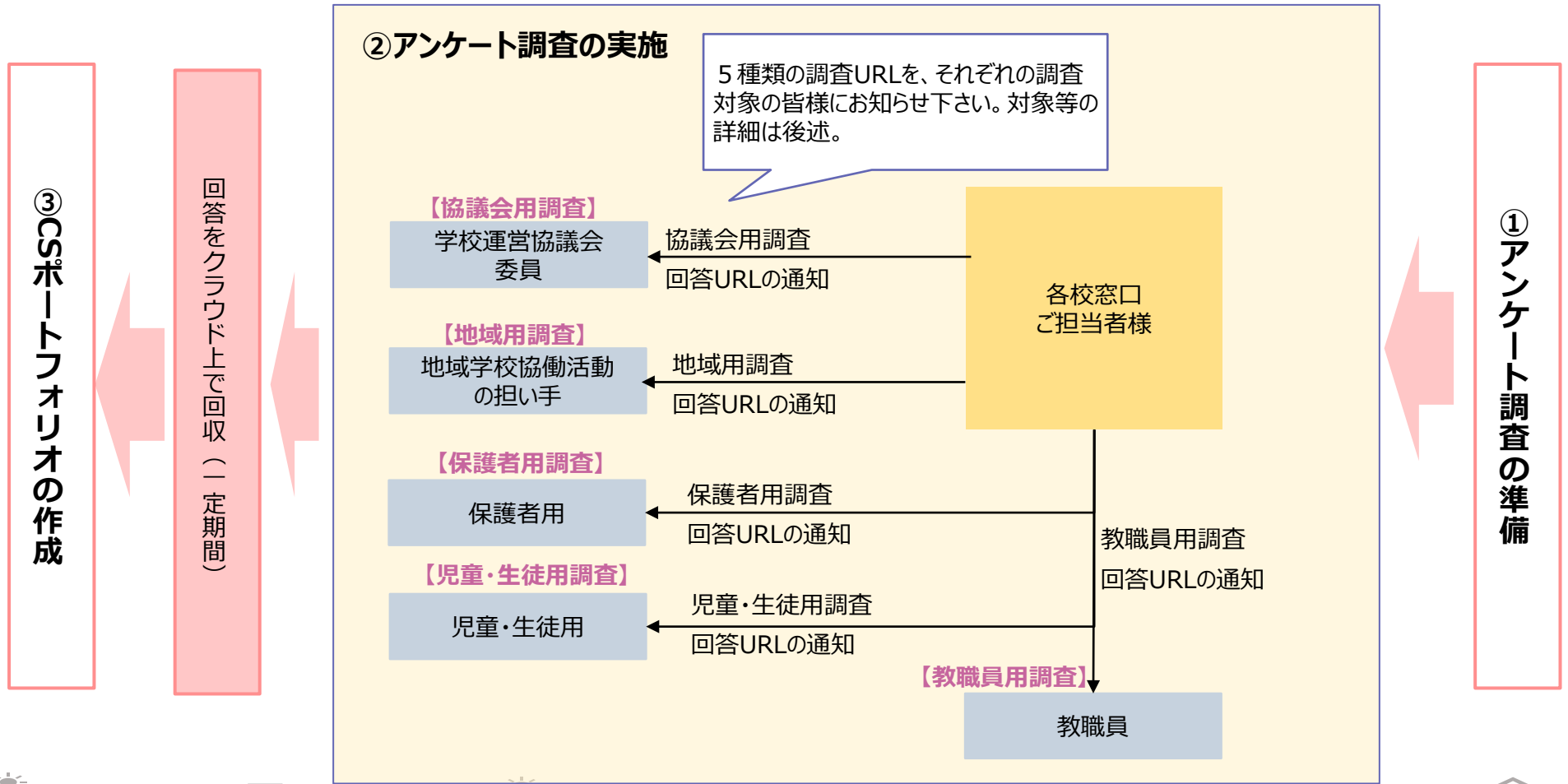
アンケート調査の実施



CSポートフォリオ（詳細版）作成までの全体像

☑ Googleフォームを使用したアンケート実施

→本アンケート調査及びCSポートフォリオをCSの実践現場で継続的かつローコストに活用いただくため、GoogleフォームによるWebアンケートの方法を推奨しています。以降で、下図の①～③について説明します。



①アンケート調査の準備：Googleフォームの準備

☑ Googleフォームを文科省アカウントからコピー

- ✓ 調査実施に必要な5種（協議会用、地域用、保護者用、児童・生徒用、教職員用）のGoogleフォームは、文部科学省で作成しているアカウントからコピーして使用いただくことができます。
- ✓ ご希望の方は、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

☑ 申し込み・問い合わせ先

【担当】

文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課
地域学校協働活動推進室 地域学校協働推進係
TEL 03-5253-4111（内線：3720）

申し込み先メールアドレス：cs-fb01@mext.go.jp



②アンケート調査の実施：調査対象

- ✓ 以下の調査対象に基づき、調査対象者に調査を依頼してください。
- ✓ 回答期間としては、2週間程度を想定していますが、各校の状況に応じてご設定ください。
- ✓ 回答は、クラウド上で自動的に回収されます。
- ✓ 紙の調査票で実施する場合、調査対象者に調査票を直接配布してください。

<調査対象者>

種類	調査の内容と想定調査対象者
■協議会用	学校運営協議会の状態や委員の意識、活動を問う調査票です。学校運営協議会の全委員がご回答ください。
■地域用	地域学校協働活動に携わっている地域の大人（協議会委員を含む、保護者を除く）の意識、活動を問う調査票です。30名程度がご回答ください。（依頼できる方が30名以下の場合にはなるべく多くの方をお願いします。）
■保護者用	貴校の児童・生徒の保護者の意識、活動を問う調査票です。下記で対象となる児童・生徒の保護者（各家庭で1票）がご回答ください。
■児童・生徒用	貴校の児童・生徒の意識、活動を問う調査票です。高学年向けのため、小学校5年生以上の方に回答いただくことを推奨します。 加えて、学校における取組を尋ねる設問があるため、中学1年生の回答は推奨していません。
■教職員用	貴校の教職員の意識、活動を問う調査票です。貴校の全教職員がご回答ください。



②アンケート調査の実施：アンケート回答URLの展開

✓ 各フォームの「送信」ボタンからアンケート回答URLを確認できます。

各フォームを開き、「送信」をクリックすると、下のような小窓が出てきます。

ここにメールアドレスを記入して「送信」すれば、回答者へURLを送付できます。URLをコピーして、別途送付する方法でも構いません。

② アンケート調査の実施：アンケート回答URLの展開

☑ 回答URLの回答者への展開

✓ アンケート回答URLを、回答者へ展開します。



フォームを送信

ここをクリックすると、回答URLが確認できます。

メールアドレスを収集する

送信方法   

メール

送信先

件名
学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者用】

メッセージ
次のフォームにご記入ください:

フォームをメールに含める



 共同編集者を追加

キャンセル 送信



フォームを送信

メールアドレスを収集する

送信方法  

リンク

<https://forms.gle/MYdK659whoJKQw3r5>

URLを短縮

キャンセル コピー

チェックを入れると、短縮版のURLの作成が可能
ですので、適宜ご活用ください。



②アンケート調査の実施：アンケートの回答

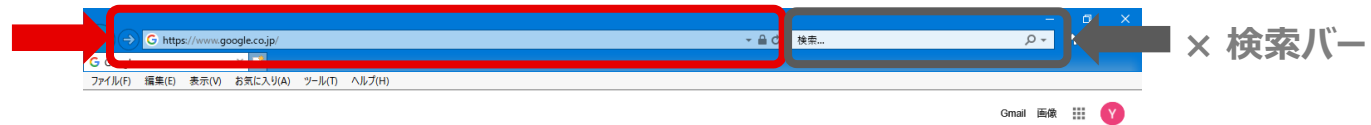
☑ 回答画面へのアクセス

- ✓ (メール等でURLを転送した場合) ご回答者は、学校から案内のあったURLにアクセスして下さい。
- ✓ メール等でお送りいただいたURLのリンクをクリックし、直接アクセスいただくことを推奨いたします。

※注意事項

URLを「検索バー」に入力して検索してもヒットしません。
URLが表示されている「アドレスバー」に直接入力してください。

○ アドレスバー



× 検索バー



②アンケート調査の実施：アンケートの回答

☑ 質問への回答

✓ 質問を読み、ご回答者ご自身のことについて、あてはまる選択肢を選択するか、自由回答にご記入ください。

<回答画面イメージ：保護者用>

学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者用】

k.nagano@murc.jp (共有なし) アカウントを切り替える 下書きを保存しました
*必須

質問1 あなたご自身のことについて教えてください。

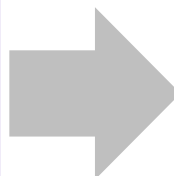
1 お子様の通われている学校名を教えてください。*

〇〇小学校

2 お子様の学年を教えてください。(※義務教育学校等の場合、相当する学年を選んでください。)*

小学5年生
 小学6年生
 中学1年生
 中学2年生
 中学3年生
 その他: _____

戻る 次へ フォームをクリア



学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者用】

k.nagano@murc.jp (共有なし) アカウントを切り替える 下書きを保存しました
*必須

質問1 あなたご自身のことについて教えてください。

1 お子様の通われている学校名を教えてください。*

〇〇小学校

2 お子様の学年を教えてください。(※義務教育学校等の場合、相当する学年を選んでください。)*

小学5年生
 小学6年生
 中学1年生
 中学2年生
 中学3年生
 その他: _____

この質問は必須です

戻る 次へ フォームをクリア

**誤入力や未入力がある場合は、エラーが表示されます。「戻る」ボタンで前の画面にお戻りください。
※ブラウザの「戻る(←)」は使用しないでください。
また、回答画面を閉じないようにご注意ください。**

回答を入力して、「次へ」ボタンを押します。



② アンケート調査の実施：アンケートの回答

☑ 質問への回答

✓ 項目ごとに1つ、あてはまる選択肢を選択します。

質問2 あなたの学校や地域の教育活動に対するお考えについて、次のことはどれだけあてはまりますか。

1（あてはまらない）、2（どちらかといえばあてはまらない）、3（どちらかといえばあてはまる）、4（あてはまる）の4段階から1つを選んでください。

3 子どもは、学校や保護者、地域住民と一緒に育てていくものだ

1 2 3 4
あてはまらない ○ ○ ● ○ あてはまる
選択を解除

4 保護者や地域住民が学校運営に関わることは必要なことだ

1 2 3 4
あてはまらない ○ ○ ○ ● あてはまる
選択を解除



②アンケート調査の実施：アンケートの回答

☑ 回答の確認・終了

- ✓ すべての質問への回答が終了したら、「送信」ボタンを押してください。

37 地域の良さを次世代に受け継ぎたい

1 2 3 4

あてはまらない あてはまる

選択を解除

38 この地域の将来は、自分たちにかかっていると思う

1 2 3 4

あてはまらない あてはまる

選択を解除

～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました ～

戻る **送信** フォームをクリア

「送信」ボタンをクリックし、下記の画面が表示されたら、そのままブラウザを閉じてください。

※回答はお一人1回とさせていただきます。「別の回答を送信」はクリックしないようにお願いいたします。



学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者】

回答を記録しました。

[別の回答を送信](#)



回答終了したら、こちらをクリック



②アンケート調査の実施：紙の調査票で実施する場合【参考】

- ✓ 調査票（ワードファイル）を印刷・配布いただくことで、紙の調査票によるアンケートの実施も可能です。
- ✓ ただし、回収した調査票の内容をCSポートフォリオファイルへ直接入力いただくことが必要になります。

<調査票イメージ：協議会用>

学校運営協議会に関するアンケート
【協議会用質問用紙】

この度は、アンケート調査へのご協力、誠にありがとうございます。
このアンケートは、学校運営の状況やコミュニティ・スクール導入の効果を測るために実施するものです。

質問 1 はじめに、あなたが学校運営協議会委員として関わる学校名を教えてください。

回答番号	回答欄
1	() 小学校・中学校

質問 2 あなたの参加する学校運営協議会について、次のことがどれだけ当てはまりますか。

回答番号	質問	選択肢（それぞれ1つを選ぶ）			
		あてはまらない	どちらかといえはあてはまらない	どちらかといえはあてはまる	あてはまる
2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	1	2	3	4
3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	1	2	3	4
4	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	1	2	3	4
5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	1	2	3	4
6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	1	2	3	4
7	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	1	2	3	4
8	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	1	2	3	4
9	議論は、特定の人の意見に左右されることはない	1	2	3	4
10	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	1	2	3	4
11	学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で確認し合っている	1	2	3	4
12	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	1	2	3	4
13	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	1	2	3	4
14	学校運営協議会の運営方針・方法について、振り返り・見直しを行う機会がある	1	2	3	4
15	協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある	1	2	3	4
16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、よりよい学校運営のために建設的に議論することがある	1	2	3	4

回答番号	質問	選択肢（それぞれ1つを選ぶ）			
		あてはまらない	どちらかといえはあてはまらない	どちらかといえはあてはまる	あてはまる
17	当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	1	2	3	4
18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	1	2	3	4
19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	1	2	3	4
20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	1	2	3	4
21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	1	2	3	4
22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	1	2	3	4
23	協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	1	2	3	4
24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	1	2	3	4
25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	1	2	3	4
26	学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	1	2	3	4
27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	1	2	3	4
28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	1	2	3	4

～ 質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました ～



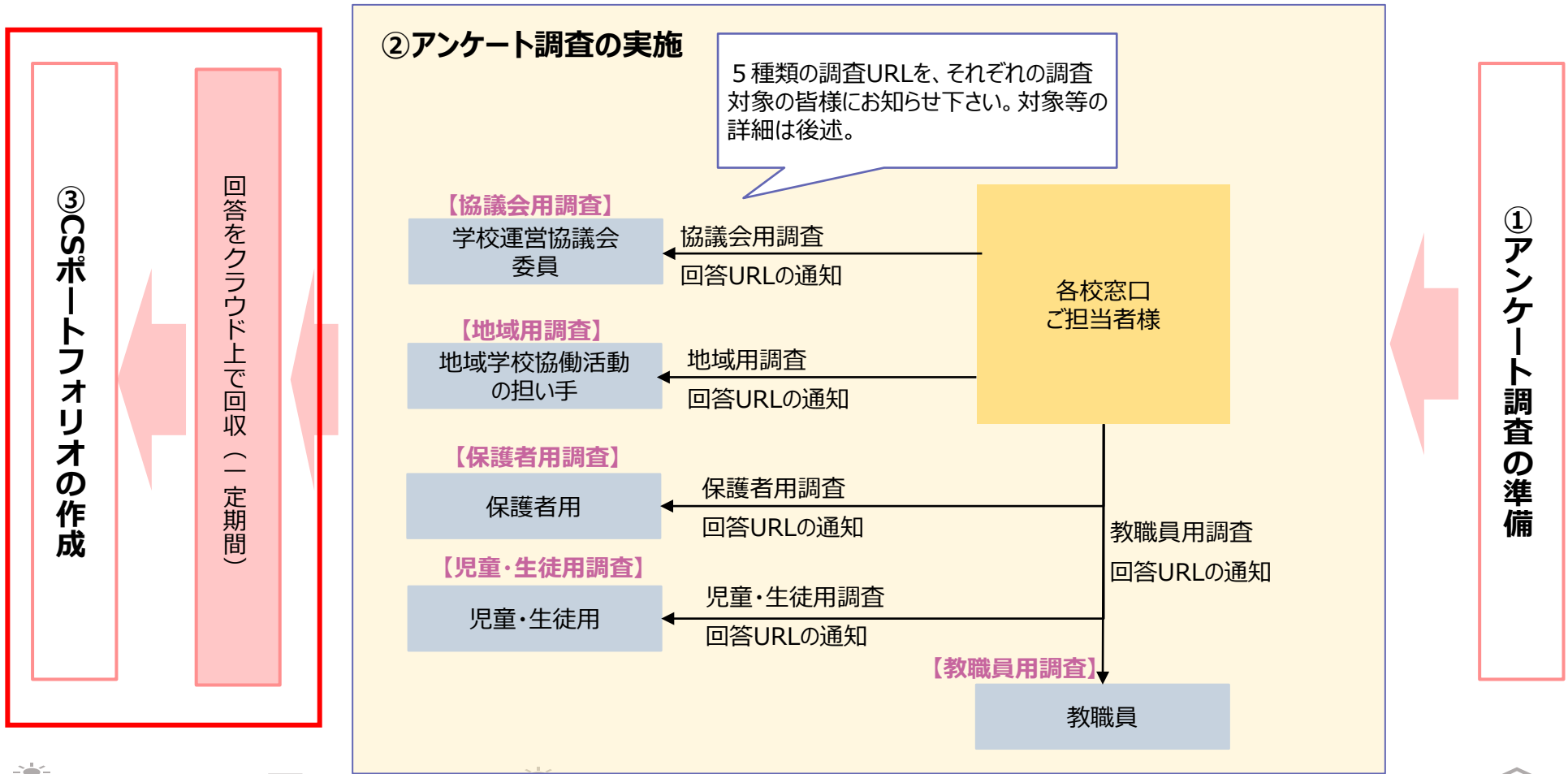
CSポートフォリオの作成



CSポートフォリオ（詳細版）作成までの全体像

☑ Googleフォームを使用したアンケート実施

→回答データをもとに、結果を見やすく表示する「CSポートフォリオ」を作成します。



③CSポートフォリオの作成：ローデータの確認

- ✓ 一定期間を経過すると、回答がクラウド上に回収されています。
- ✓ Googleフォームが紐づくアカウントのGoogle Drive上に、回答ローデータ（「各種アンケート回答結果」）が集まっています。

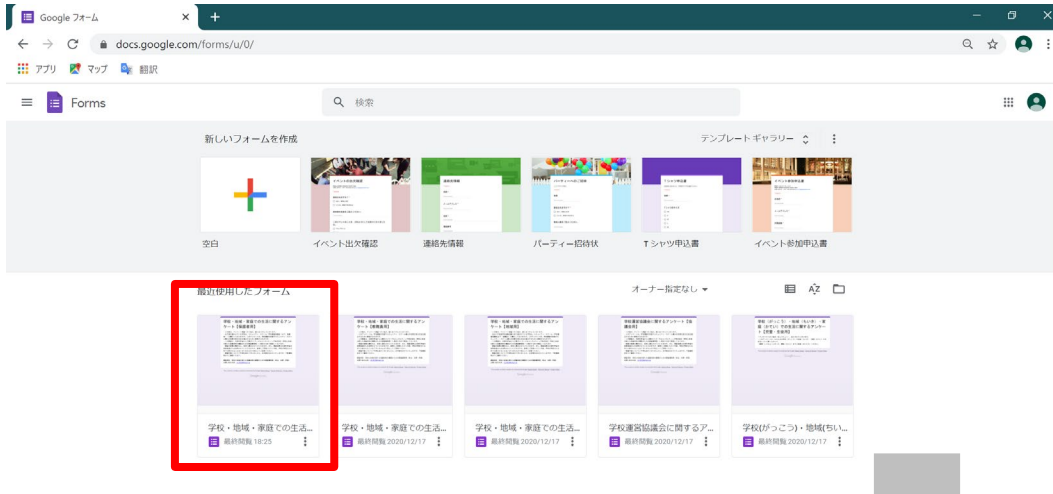
Googleフォーム及びフォルダの権限移譲が済んでいれば「マイドライブ」上に、未済であれば「共有アイテム」上にフォルダが出てきます。

The screenshot shows the Google Drive interface. On the left, the navigation pane includes '新規' (New), 'マイドライブ' (My Drive), 'パソコン' (Computer), '共有アイテム' (Shared items), '最近使用したアイテム' (Recently used items), 'スター付き' (Starred), 'ゴミ箱' (Trash), and '保存容量' (Storage). The 'マイドライブ' section is expanded, showing a folder named '〇〇学校' (〇〇 School), which is highlighted with a red arrow. Below it are 'パソコン', '共有アイテム', '最近使用したアイテム', 'スター付き', and 'ゴミ箱'. The main area shows a list of files under the heading 'ファイル' (Files). The first file, '各種アンケート回答結果' (Various survey results), is highlighted with a red border. It is a Google Forms file. Other files include '学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【教職員用】' (Survey for school staff), '学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【地域用】' (Survey for community), '学校・地域・家庭での生活に関するアンケート【保護者用】' (Survey for parents), '学校（がっこう）・地域（ちいき）・家庭（かてい）での生活に関するアンケート【児童・生徒用】' (Survey for children and students), and '学校運営協議会に関するアンケート【協議会用】' (Survey for school management committee).



③CSポートフォリオの作成：ローデータの確認

- ✓ Googleフォームの管理者画面からも、回答状況及び回答ローデータを確認することができます。
- ✓ ここから各調査のcsvファイルをダウンロードすることも可能です。



各調査画面で、「回答」タブに移動します。



③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

- ✓ 「各種アンケート回答結果」の回答ローデータを、CSポートフォリオのローデータシートに貼り付けます。
- ✓ 主体ごとにシートが分かれていますので、ローデータを貼り付けるシートを間違えないようにして下さい。

回答番号	平均値	割合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	3.54	100.0%	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2	3.62	100.0%	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3	2.31	46.2%	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	3.54	84.6%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	3.77	100.0%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
6	3.23	80.8%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
7	3.35	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	3.62	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
9	3.38	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
10	3.23	76.9%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
11	3.54	100.0%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
12	3.69	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
13	3.42	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
14	3.15	84.6%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
15	3.38	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
16	3.54	100.0%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
17	3.42	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
18	3.54	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
19	3.31	73.1%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
20	3.31	73.1%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
21	3.65	92.3%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

CSポートフォリオファイルは、以下の6つのシートで構成されています。

- ①ポートフォリオ
- ②【協議会】調査
- ③【地域】調査
- ④【保護者】調査
- ⑤【教職員】調査
- ⑥【児童・生徒】調査

赤枠で囲んでいる、②～⑥がローデータを貼り付けるシートです。

左の画像のように、グレー部分に質問項目が既に記入されています。



③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

- ✓ 各主体のローデータシートの、黄色の網掛け部分に貼り付けてください。
- ✓ ただし、このとき「値貼り付け」形式を使用してください。また、質問がずれないようにご注意ください。

※紙の調査票で調査実施した場合、回答結果の選択肢番号を、直接こちらに記入してください。

ここに「値貼り付け」します。

	平均値	3.54	3.62	2.31	3.54	3.77	3.23	3.35	3.62	3.38	3.23	3.54	3.69	3.42	3.15	3.38	3.54	3.42	3.54	3.31	3.65
割合	100.0%	100.0%	46.2%	84.6%	100.0%	80.8%	92.3%	92.3%	92.3%	76.9%	92.3%	100.0%	92.3%	84.6%	92.3%	100.0%	92.3%	100.0%	92.3%	73.1%	92.3%
1	A校	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2	A校	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	2
3	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4	A校	3	3	1	3	4	3	3	3	3	2	3	3	4	2	3	3	3	3	3	2
5	A校	3	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
6	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
7	A校	3	3	2	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
8	A校	4	4	1	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4
9	A校	4	4	4	3	4	4	2	3	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	2
10	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
11	A校	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	3	3	4	2	3	3	3	3	2	3
12	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
13	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
14	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4
15	A校	4	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
16	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
17	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
18	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
19	A校	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2	3	3	4	2	3	3	3	3	2	3
20	A校	3	4	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
21	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
22	A校	3	3	3	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
23	A校	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
24	A校	4	4	2	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	3	4
25	A校	4	4	2	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
26	A校	4	4	2	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	3	4	4
27	A校	4	4	2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
28	A校	3	3	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	3	2	2	2
29	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
30	A校	4	4	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3

他の主体についても、同様に貼り付けを行ってください。

CSポートフォリオの自動作成

- ✓ アンケート調査結果をローデータシートに貼り付けると、自動的にCSポートフォリオが作成されます。
- ✓ ただし、自動的に作成されるのは自校の今回調査部分のみになります。地域全体の調査や前回、前々回の調査についてはその結果を直接貼りつけてください（次頁以降参照）。

地域とともにある学校の実現に向けたコミュニティ・スクールの「見える化」ポートフォリオ

協会の運営

学校・家庭・地域の意識・連携協働の状況

子どもへの効果

教職員への効果

地域（協働活動参加者）への効果

保護者への効果

大人への効果

ポートフォリオ

協会の運営

教職員の意識

協働活動参加者の意識

ポートフォリオ

すべてのローデータシートに貼り付けを完了すると、1シート目の「ポートフォリオ」シートが自動的に作成されるようになっています。



③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

- ✓ 比較対象地域データ、過去調査データを表示させたい場合、自動的に作成されませんので、CSポートフォリオに直接値を貼り付けてください。

A 協議会の運営		本校の結果			地域の結果	本校の結果の推移			推移のグラフ
		今回	前回は	地域比	地域平均	前々回	前回	今回	
		割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)の推移
自律性		86.2%	1.4pt	1.4pt	84.8%	84.8%	84.8%	86.2%	自律性
協 2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	100.0%	5.5pt	5.5pt	94.5%	94.5%	94.5%	100.0%	
協 3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0%	4.7pt	4.7pt	95.3%	95.3%	95.3%	100.0%	
協 4	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	46.2%	1.3pt	1.3pt	44.9%	44.9%	44.9%	46.2%	
協 5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	84.6%	-6.1pt	-6.1pt	90.7%	90.7%	90.7%	84.6%	
協 6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	100.0%	1.5pt	1.5pt	98.5%	98.5%	98.5%	100.0%	
協 7	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	80.8%	-1.4pt	-1.4pt	82.2%	82.2%	82.2%	80.8%	
協 8	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	92.3%	18.0pt	18.0pt	74.3%	74.3%	74.3%	92.3%	
協 9	議論は、特定の人の意見に左右されることはない	92.3%	4.0pt	4.0pt	88.3%	88.3%	88.3%	92.3%	
協 10	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	92.3%	-2.7pt	-2.7pt	95.0%	95.0%	95.0%	92.3%	
持続性		90.4%	-0.1pt	-0.1pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.4%	
協 11	学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で確認し合えている	76.9%	-13.5pt	-13.5pt	90.4%	90.4%	90.4%	76.9%	
協 12	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	92.3%	1.3pt	1.3pt	91.0%	91.0%	91.0%	92.3%	
協 13	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%	
協 14	学校運営協議会の運営方針・方法について、振り返り・見直しを行う機会がある	92.3%	4.2pt	4.2pt	99.0%	99.0%	99.0%	92.3%	
熟議度		92.3%	3.1pt	3.1pt	89.2%	89.2%	89.2%	92.3%	
協 15	協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることがある	90.0%	-0.5pt	-0.5pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.0%	
協 16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	73.1%	-12.9pt	-12.9pt	86.0%	86.0%	86.0%	73.1%	
協 17	当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	92.3%	-3.6pt	-3.6pt	95.9%	95.9%	95.9%	92.3%	
協 18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	84.6%	-1.1pt	-1.1pt	85.7%	85.7%	85.7%	84.6%	
協 19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%	
協 20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%	
協 21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	82.7%	6.2pt	6.2pt	76.5%	76.5%	76.5%	82.7%	
協 22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	76.9%	25.9pt	25.9pt	51.0%	51.0%	51.0%	76.9%	
協 23	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%	
協 24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%	
協 25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	76.9%	25.9pt	25.9pt	51.0%	51.0%	51.0%	76.9%	
協 26	学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%	
協 27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	69.2%	-12.7pt	-12.7pt	81.9%	81.9%	81.9%	69.2%	
協 28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	84.6%	3.6pt	3.6pt	81.0%	81.0%	81.0%	84.6%	

赤の網掛け部分は、ローデータシートへの入力によって自動的に算出されますが、黄色の枠線部分には、別途データの直接貼り付けが必要です。黄色の網掛け部分は、黄色の枠線部分に数値を貼り付けると、自動的に算出されます。



③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

- ✓ **地域の結果**：教育委員会が取りまとめ、所管する全校でアンケート調査を実施した場合などは、一度地域全体のCSポートフォリオを作成し、そこで算出された数値を各校のCSポートフォリオ「地域の結果」に貼り付けることで、地域平均値との比較ができるようになります。



A 協議会の運営

	自校の結果			地域の結果	自校の結果の推移			推移のグラフ	
	今回	前回比	地域比	地域平均	前々回	前回	今回		
	割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)の推移	
自律性	86.2%	1.4pt	1.4pt	84.8%	84.8%	84.8%	86.2%	自律性	
協 2 学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	100.0%	5.5pt	5.5pt	94.5%	94.5%	94.5%	100.0%		
協 3 学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0%	4.7pt	4.7pt	95.3%	95.3%	95.3%	100.0%		
協 4 教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	46.2%	1.3pt	1.3pt	44.9%	44.9%	44.9%	46.2%		
協 5 教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	84.6%	-6.1pt	-6.1pt	90.7%	90.7%	90.7%	84.6%		
協 6 協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	100.0%	1.5pt	1.5pt	98.5%	98.5%	98.5%	100.0%		
対等性	89.4%	4.4pt	4.4pt	85.0%	85.0%	85.0%	89.4%		対等性
協 7 地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	80.8%	-1.4pt	-1.4pt	82.2%	82.2%	82.2%	80.8%		
協 8 子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	92.3%	18.0pt	18.0pt	74.3%	74.3%	74.3%	92.3%		
協 9 議論は、特定の人の意見に左右されることはない	92.3%	4.0pt	4.0pt	88.3%	88.3%	88.3%	92.3%		
協 10 協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	92.3%	-2.7pt	-2.7pt	95.0%	95.0%	95.0%	92.3%		
持続性	90.4%	-0.1pt	-0.1pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.4%	持続性	
協 11 学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で確認し合っている	76.9%	-13.5pt	-13.5pt	90.4%	90.4%	90.4%	76.9%		
協 12 学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	92.3%	1.3pt	1.3pt	91.0%	91.0%	91.0%	92.3%		
協 13 校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%		
協 14 学校運営協議会の運営方針・方法について、振り返り・見直しを行う機会がある	92.3%	4.3pt	4.3pt	88.0%	88.0%	88.0%	92.3%		
熟議度	92.3%	8.1pt	8.1pt	84.2%	84.2%	84.2%	92.3%	熟議度	
協 15 協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることがある	84.6%	11.4pt	11.4pt	73.2%	73.2%	73.2%	84.6%		
協 16 学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	92.3%	-1.6pt	-1.6pt	93.9%	93.9%	93.9%	92.3%		
協 17 当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	100.0%	20.7pt	20.7pt	79.3%	79.3%	79.3%	100.0%		
協 18 協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	92.3%	6.9pt	6.9pt	85.4%	85.4%	85.4%	92.3%		
協 19 学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	92.3%	3.1pt	3.1pt	89.2%	89.2%	89.2%	92.3%		
実行性	90.0%	-0.5pt	-0.5pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.0%	実行性	
協 20 学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	73.1%	-12.9pt	-12.9pt	86.0%	86.0%	86.0%	73.1%		
協 21 協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	92.3%	-3.6pt	-3.6pt	95.9%	95.9%	95.9%	92.3%		
協 22 議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	84.6%	-1.1pt	-1.1pt	85.7%	85.7%	85.7%	84.6%		
協 23 協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%		
協 24 協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%		
共有性	82.7%	6.2pt	6.2pt	76.5%	76.5%	76.5%	82.7%		共有性
協 25 地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	76.9%	25.9pt	25.9pt	51.0%	51.0%	51.0%	76.9%		
協 26 学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%		
協 27 学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	69.2%	-12.7pt	-12.7pt	81.9%	81.9%	81.9%	69.2%		
協 28 協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	84.6%	3.6pt	3.6pt	81.0%	81.0%	81.0%	84.6%		



③CSポートフォリオの作成：データの貼り付け

✓ 自校の結果（前々回・前回）：前々回・前回の結果は、経年で調査を実施した場合に埋めることができます。過去の調査で作成したCSポートフォリオで算出された数値を「前々回」「前回」に貼り付けることで、経年比較ができるようになります。



A 協議会の運営

		自校の結果				自校の結果の推移			
		今回	前回比	地域比	地域平均	前々回	前回	今回	推移のグラフ
		割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)の推移
自律性		86.2%	1.4pt	1.4pt	84.8%	84.8%	84.8%	86.2%	自律性
協 2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	100.0%	5.5pt	5.5pt	94.5%	94.5%	94.5%	100.0%	
協 3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	100.0%	4.7pt	4.7pt	95.3%	95.3%	95.3%	100.0%	
協 4	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	46.2%	1.3pt	1.3pt	44.9%	44.9%	44.9%	46.2%	
協 5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	84.6%	-6.1pt	-6.1pt	90.7%	90.7%	90.7%	84.6%	
協 6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	100.0%	1.5pt	1.5pt	98.5%	98.5%	98.5%	100.0%	
対等性		89.4%	4.4pt	4.4pt	85.0%	85.0%	85.0%	89.4%	
協 7	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある	80.8%	-1.4pt	-1.4pt	82.2%	82.2%	82.2%	80.8%	
協 8	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある	92.3%	18.0pt	18.0pt	74.3%	74.3%	74.3%	92.3%	
協 9	議論は、特定の人の意見に左右されることはない	92.3%	4.0pt	4.0pt	88.3%	88.3%	88.3%	92.3%	
協 10	協議会内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある	92.3%	-2.7pt	-2.7pt	95.0%	95.0%	95.0%	92.3%	
持続性		90.4%	-0.1pt	-0.1pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.4%	
協 11	学校運営協議会の役割や運営について、委員全員で確認し合えている	76.9%	-13.5pt	-13.5pt	90.4%	90.4%	90.4%	76.9%	
協 12	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている	92.3%	1.3pt	1.3pt	91.0%	91.0%	91.0%	92.3%	
協 13	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%	
協 14	学校運営協議会の運営方針・方法について、振り返り・見直しを行う機会がある	92.3%	4.3pt	4.3pt	88.0%	88.0%	88.0%	92.3%	
熟議度		92.3%	8.1pt	8.1pt	84.2%	84.2%	84.2%	92.3%	
協 15	協議会で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることがある	84.6%	11.4pt	11.4pt	73.2%	73.2%	73.2%	84.6%	
協 16	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	92.3%	-1.6pt	-1.6pt	93.9%	93.9%	93.9%	92.3%	
協 17	当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	100.0%	20.7pt	20.7pt	79.3%	79.3%	79.3%	100.0%	
協 18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	92.3%	6.9pt	6.9pt	85.4%	85.4%	85.4%	92.3%	
協 19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	92.3%	3.1pt	3.1pt	89.2%	89.2%	89.2%	92.3%	
実行性		90.0%	-0.5pt	-0.5pt	90.5%	90.5%	90.5%	90.0%	
協 20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	73.1%	-12.9pt	-12.9pt	86.0%	86.0%	86.0%	73.1%	
協 21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	92.3%	-3.6pt	-3.6pt	95.9%	95.9%	95.9%	92.3%	
協 22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	84.6%	-1.1pt	-1.1pt	85.7%	85.7%	85.7%	84.6%	
協 23	協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%	
協 24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	100.0%	7.3pt	7.3pt	92.7%	92.7%	92.7%	100.0%	
共有性		82.7%	6.2pt	6.2pt	76.5%	76.5%	76.5%	82.7%	
協 25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	76.9%	25.9pt	25.9pt	51.0%	51.0%	51.0%	76.9%	
協 26	学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	100.0%	7.9pt	7.9pt	92.1%	92.1%	92.1%	100.0%	
協 27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	69.2%	-12.7pt	-12.7pt	81.9%	81.9%	81.9%	69.2%	
協 28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	84.6%	3.6pt	3.6pt	81.0%	81.0%	81.0%	84.6%	



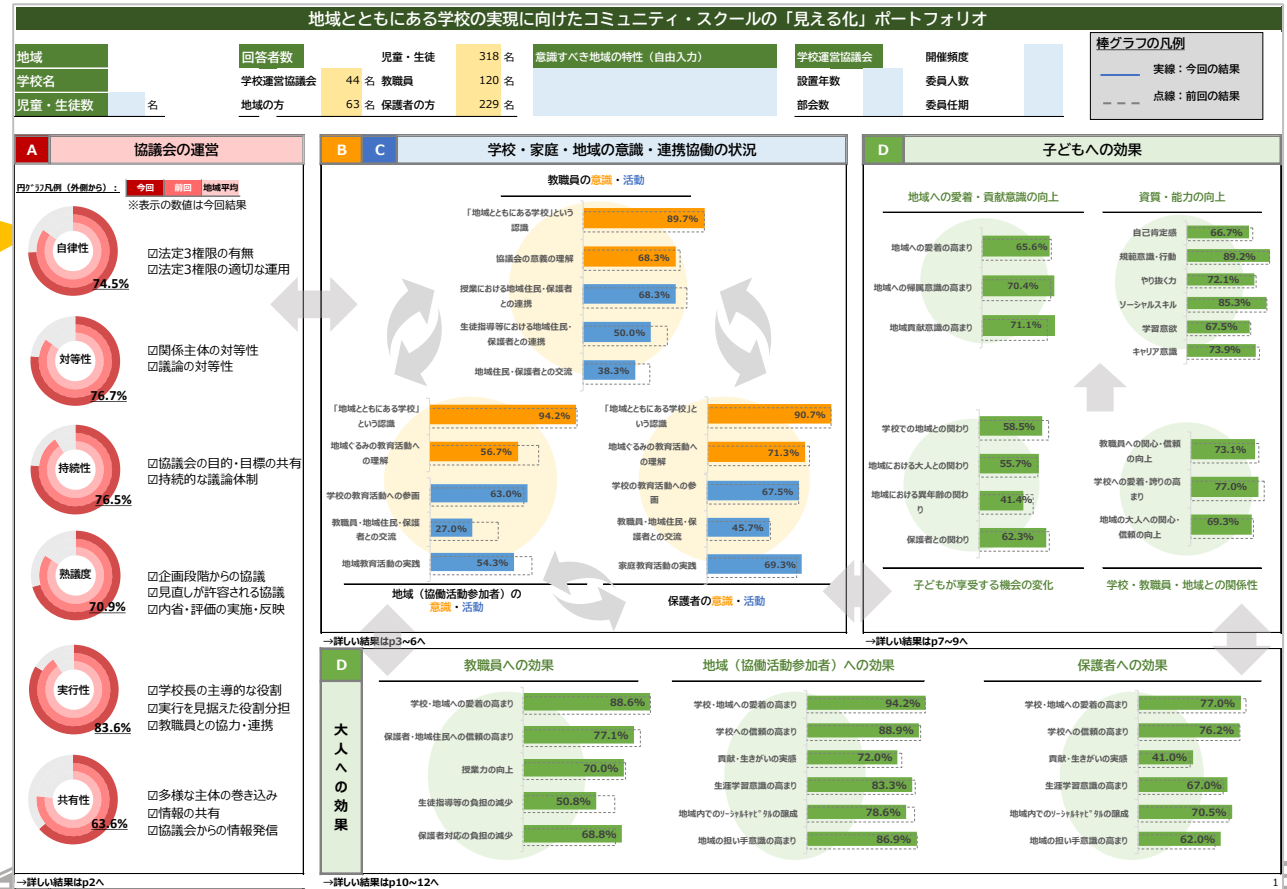
CSポートフォリオの完成



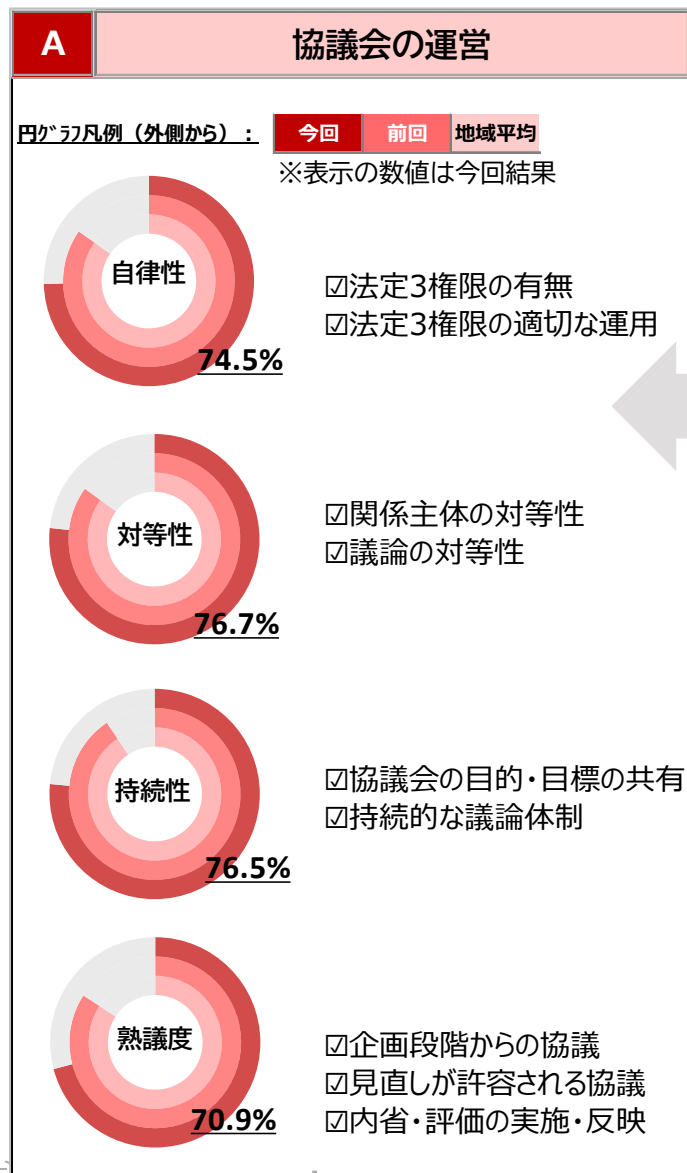
CSポートフォリオの構造：総括表

- ✓ CSポートフォリオの1ページ目は総括表となっており、**全体傾向**を把握できます。
- ✓ 表示されているパーセンテージは、各質問（指標）についてアンケートで**肯定的な回答をした者の割合**です。
(例：「4.あてはまる」「3.どちらかといえばあてはまる」「2.どちらかといえばあてはまらない」「1.あてはまらない」の4択のうち、肯定的回答である「4」「3」を選択肢した者の割合)
- ✓ 総括表では、個別の質問（指標）への回答ではなく、**いくつかの指標をまとめた概念ごとの結果**が示されています。

例えば、この「自律性」は、5つの指標をまとめた1つの概念となっています。



CSポートフォリオの読み取り方：総括表



【A：協議会の運営】

- ✓ 協議会委員へのアンケート結果をグラフ化しています。
- ✓ 協議会運営の状態について、重要だと考えられる6つの要素ごとに表示されます。

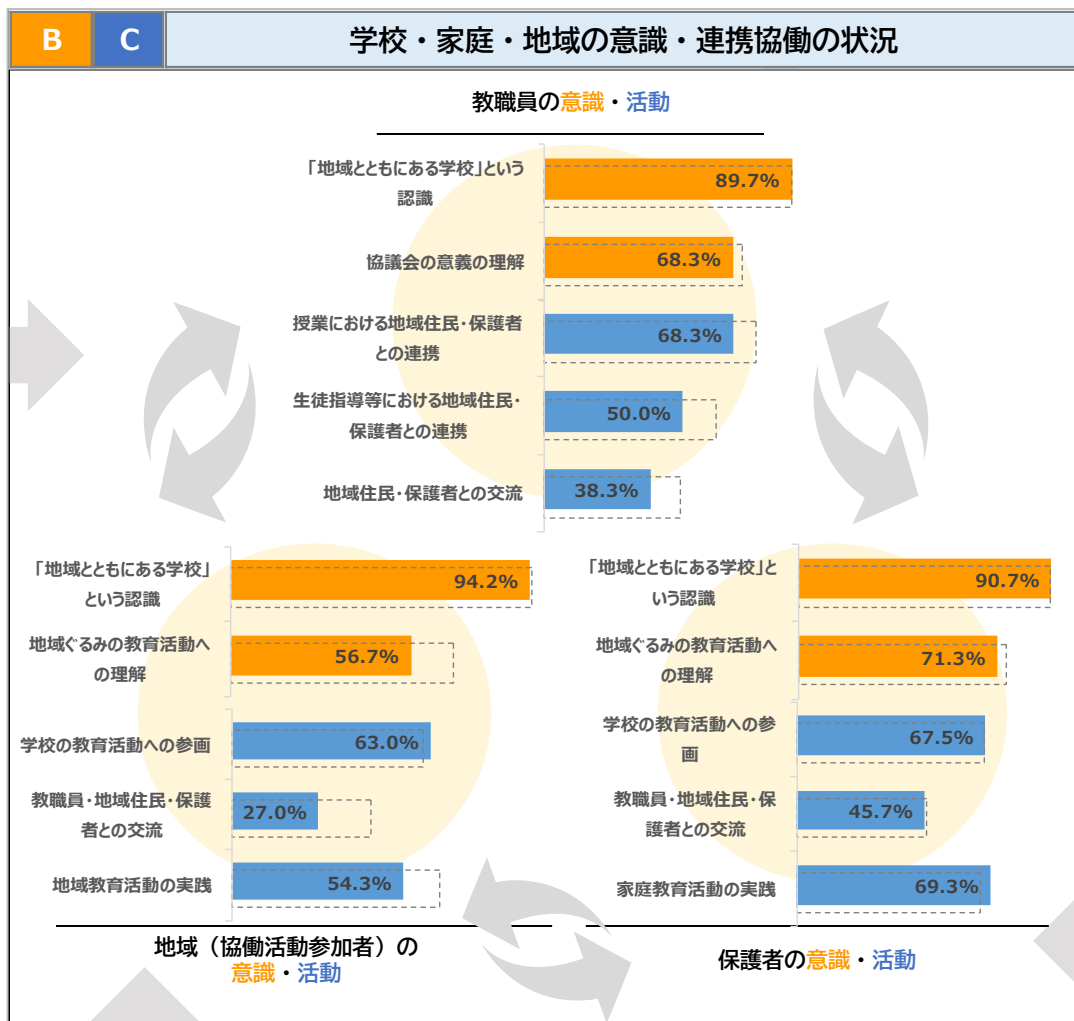
外側の濃い赤 : 自校の今回調査の結果

真ん中の少し薄い赤 : 自校の前回調査の結果

内側の薄い赤 : 地域平均値の結果

※地域平均値：複数校が同時に調査を実施した場合、調査を実施したすべての学校の平均値等を入れることができます

CSポートフォリオの読み取り方：総括表



【B・C：学校・家庭・地域の意識・連携協働の状況】

- ✓ 教職員・地域（協働活動参加者）・保護者へのアンケート結果のうち、「意識」や「活動」に関する指標をグラフ化しています。
- ✓ 関係者の意識や活動の状態について、主体ごとに表示されます。

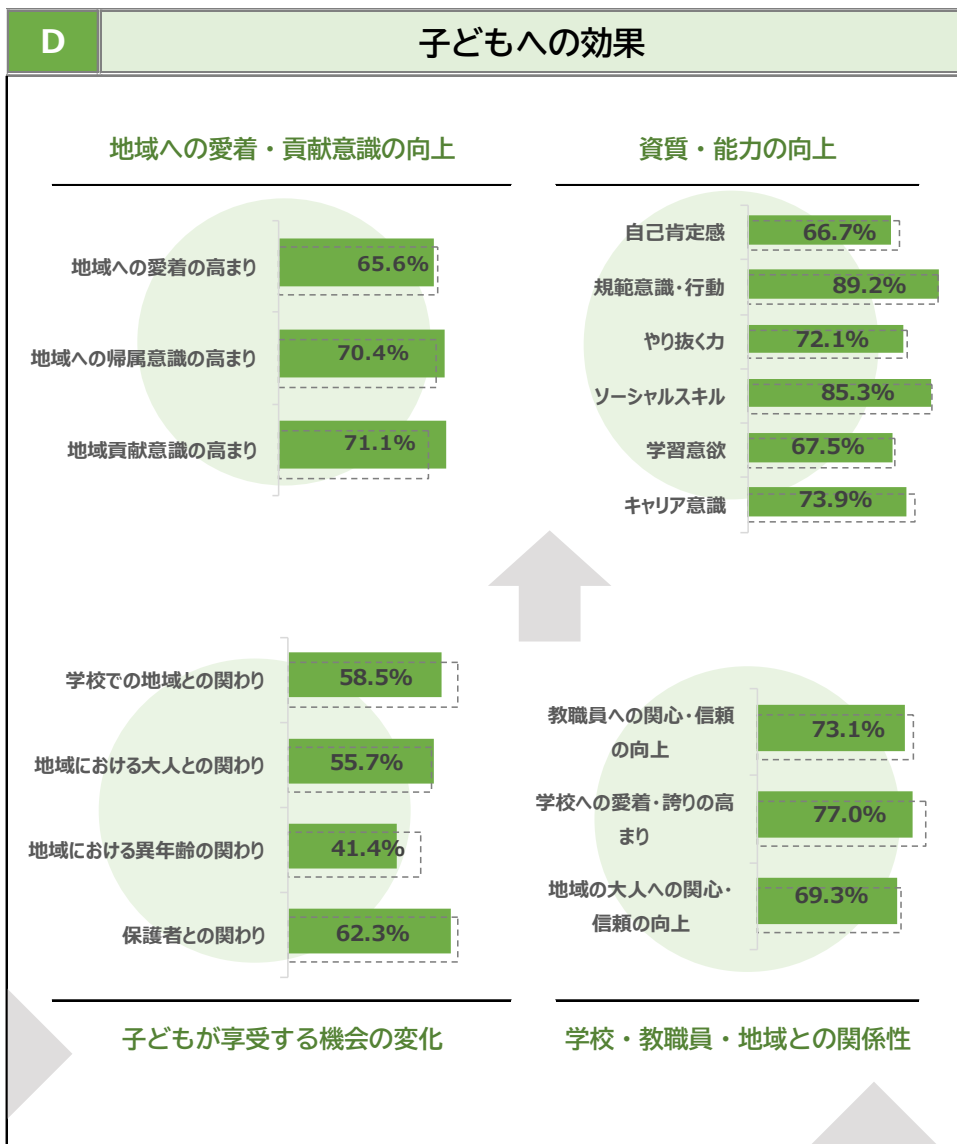
オレンジの棒グラフ：各主体の意識に関する、**自校の今回調査の結果**

青の棒グラフ：各主体の活動に関する、**自校の今回調査の結果**

破線の棒グラフ：それぞれについて、**自校の前回調査の結果**



CSポートフォリオの読み取り方：総括表



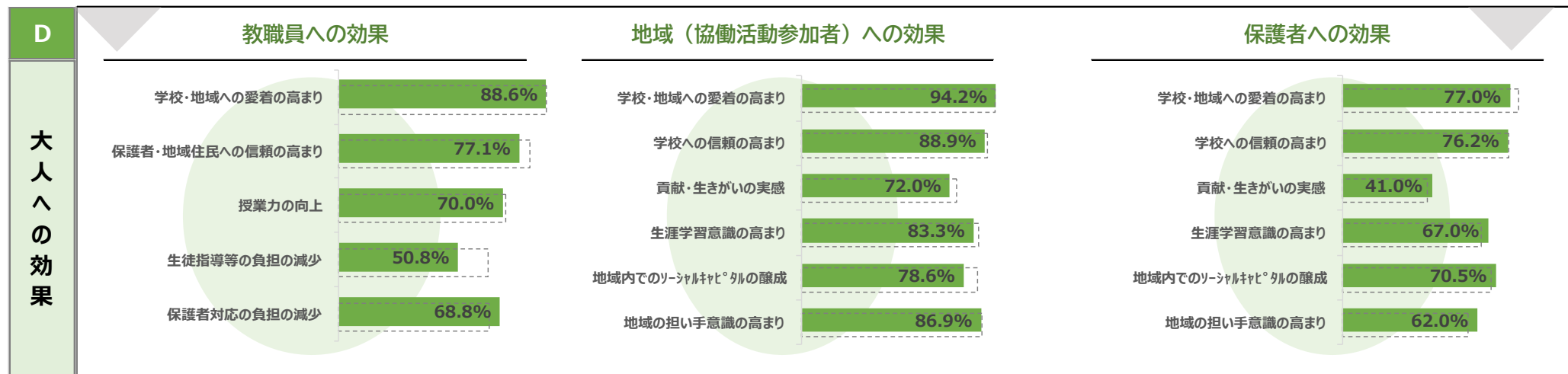
【D（右上）：子どもへの効果】

- ✓ 児童・生徒へのアンケート結果をグラフ化しています。
- ✓ 子どもへの効果として、資質・能力への影響等が表示されます。

緑の棒グラフ：自校の今回調査の結果

破線の棒グラフ：自校の前回調査の結果

CSポートフォリオの読み取り方：総括表



【D（右下）：大人への効果】

- ✓ 教職員・地域（協働活動参加者）・保護者へのアンケート結果のうち、「CSの成果」に関する指標をグラフ化しています。
- ✓ 大人の関係者への効果として、生きがいや地域への愛着等の項目が主体ごとに表示されます。

緑の棒グラフ：自校の今回調査の結果

破線の棒グラフ：自校の前回調査の結果



CSポートフォリオの構造と読み取り方：詳細表

✓ CSポートフォリオの2ページ以降では、アンケート設問ごとの詳細な回答結果をお示ししています。

		今回	前回比	地域比	地域平均	前々回	前回	今回	推移のグラフ 割合(%)の推移
		割合(%)	差(pt)	差(pt)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	割合(%)	
自律性		74.5%	-10.3pt	-10.3pt	84.8%	84.8%	84.8%	74.5%	自律性
協 2	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員による議論を行う	84.1%	-10.4pt	-10.4pt	94.5%	94.5%	94.5%	84.1%	
協 3	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある	95.5%	0.2pt	0.2pt	95.3%	95.3%	95.3%	95.5%	
協 4	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある	20.5%	-24.4pt	-24.4pt	44.9%	44.9%	44.9%	20.5%	
協 5	教職員は、協議会からの意見を重視し、それをふまえた学校運営を行っている	79.5%	-11.2pt	-11.2pt	90.7%	90.7%	90.7%	79.5%	
協 6	協議会やその構成メンバーにも、よりよい学校づくりをすすめる自覚がある	93.2%	-5.3pt	-5.3pt	98.5%	98.5%	98.5%	93.2%	
対等		76.7%	-8.3pt	-8.3pt	85.0%	85.0%	85.0%	76.7%	
協		68.2%	-14.0pt	-14.0pt	82.2%	82.2%	82.2%	68.2%	
協		72.7%	-1.6pt	-1.6pt	74.3%	74.3%	74.3%	72.7%	
協		81.8%	-6.5pt	-6.5pt	88.3%	88.3%	88.3%	81.8%	
協		84.1%	-10.9pt	-10.9pt	95.0%	95.0%	95.0%	84.1%	
持続		76.5%	-14.1pt	-14.1pt	90.6%	90.6%	90.6%	76.5%	
協		79.5%	-10.9pt	-10.9pt	90.4%	90.4%	90.4%	79.5%	
協		79.5%	-11.5pt	-11.5pt	91.0%	91.0%	91.0%	79.5%	
協		79.5%	-13.2pt	-13.2pt	92.7%	92.7%	92.7%	79.5%	
協		70.5%	-17.5pt	-17.5pt	88.0%	88.0%	88.0%	70.5%	
熟議		70.9%	-13.3pt	-13.3pt	84.2%	84.2%	84.2%	70.9%	
協		68.2%	-5.0pt	-5.0pt	73.2%	73.2%	73.2%	68.2%	
協 10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある	81.8%	-12.1pt	-12.1pt	93.9%	93.9%	93.9%	81.8%	
協 17	当初の議案が、議論によって変更・改善されることがある	56.8%	-22.5pt	-22.5pt	79.3%	79.3%	79.3%	56.8%	
協 18	協議会で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある	79.5%	-5.9pt	-5.9pt	85.4%	85.4%	85.4%	79.5%	
協 19	学校評価などの各種の評価結果を活かした改善について、議論が行われている	68.2%	-21.0pt	-21.0pt	89.2%	89.2%	89.2%	68.2%	
実行性		83.6%	-6.9pt	-6.9pt	90.5%	90.5%	90.5%	83.6%	実行性
協 20	学校長の主導で、協議会の内容が有意義になったと感じることがある	86.4%	0.4pt	0.4pt	86.0%	86.0%	86.0%	86.4%	
協 21	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている	88.6%	-7.3pt	-7.3pt	95.9%	95.9%	95.9%	88.6%	
協 22	議論の結果、各主体（学校・保護者・地域の大人等）が実行すべきこと・役割分担が明確になっている	70.5%	-15.2pt	-15.2pt	85.7%	85.7%	85.7%	70.5%	
協 23	協議会で議論した活動に自ら参加したり、活動の一部を担ったりすることがある	84.1%	-8.0pt	-8.0pt	92.1%	92.1%	92.1%	84.1%	
協 24	協議された事項の実行にあたり、教職員は期待される役割を果たしている	88.6%	-4.1pt	-4.1pt	92.7%	92.7%	92.7%	88.6%	
共有性		63.6%	-12.9pt	-12.9pt	76.5%	76.5%	76.5%	63.6%	
協 25	地域住民や保護者は、誰が協議会委員になっているか知っている	45.5%	-5.5pt	-5.5pt	51.0%	51.0%	51.0%	45.5%	
協 26	学校教育目標や学校運営の基本方針が確認しやすい形で共有されており、内容は理解している	86.4%	-5.7pt	-5.7pt	92.1%	92.1%	92.1%	86.4%	
協 27	学校の問題や悩みは、協議会委員の中で共有されている	65.9%	-16.0pt	-16.0pt	81.9%	81.9%	81.9%	65.9%	
協 28	協議会での協議内容について、十分な情報発信が行われている	56.8%	-24.2pt	-24.2pt	81.0%	81.0%	81.0%	56.8%	

設問ごとの詳しい回答結果（2ページ目以降）

- 冒頭のグラフから気になった点は、2ページ目以降、アンケート設問ごとの回答結果一覧を参照することで、より詳しく、各項目・各主体の実態を把握することができます

※初めてCSポートフォリオを作成した学校の場合、自校前回・前々回データがありませんので、該当箇所は表示されません。

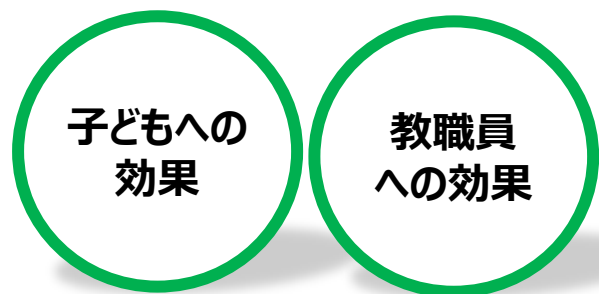


結果の読み取り方



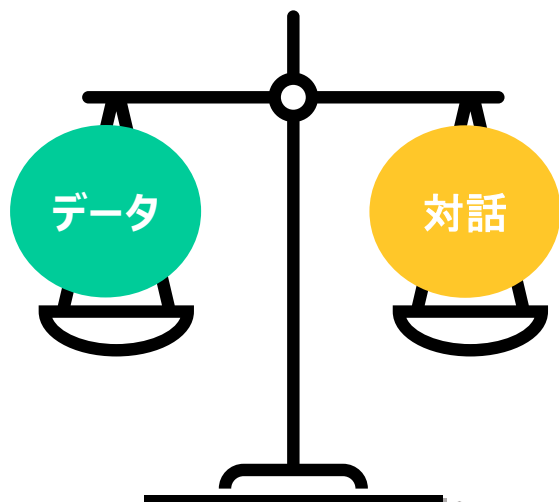
評価結果を読み解く視点

1. 注目したい**指標**を選択する



- すべての指標で改善・100%を目指さなくてよい。
- 自校で目指す目標、大切にしていることに近い指標はどれか？

2. **実感**と結び付けて考える

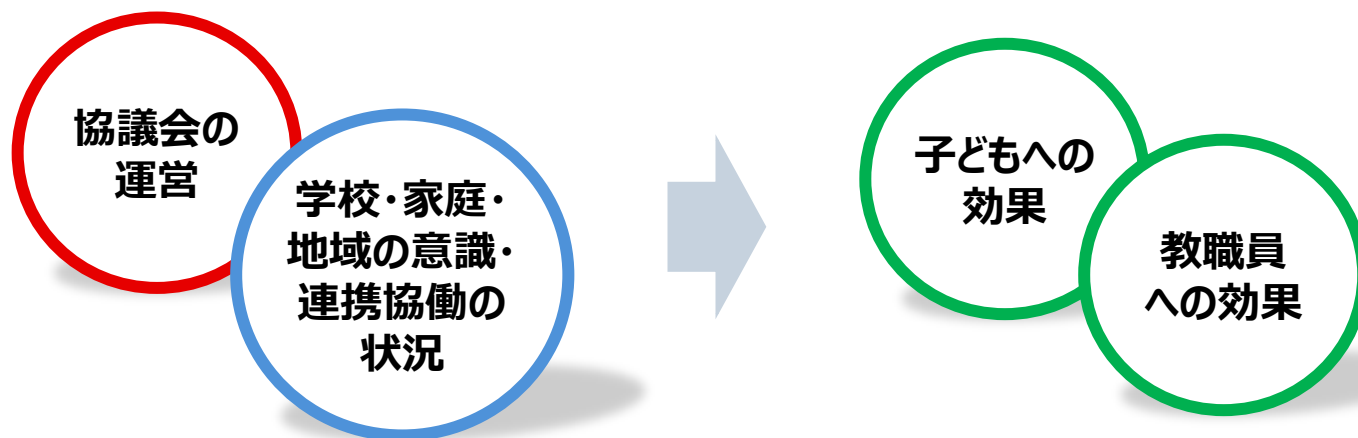


- 数値を「結果」として単に受け入れるだけではもったいない。
- なぜその結果が出ているのか？などを実際の取組や現場の実感と結び付けて解釈する



評価結果を読み解く視点

3. 組織運営や関係者の意識・活動の状態との繋がりを捉える



関連性は？
成果の出やすい組織や関係者の在り方になっているか？



【補足】CSポートフォリオの留意点

✓ 調査結果の読み取りにおいては、以下の点に留意が必要です。

★学校運営協議会の委員、対象学年の児童・生徒、保護者、教職員の調査において、未回答者がいる場合は母集団の回答と誤差が発生することになります。

(例えば、100人の学年で許容誤差5%とするには80人の回答が必要です。)

★地域の大人への調査結果については、回答者数や回答者の属性にご留意いただき、読み取りを行ってください。

★経年変化をみる場合、調査対象自体が変化している（例えば、西暦n年の6年生を対象とした後に、西暦n+1年の6年生を対象として変化をみる場合、母集団となる児童自体が異なる）ことを踏まえて回答結果を読み取る必要があります。



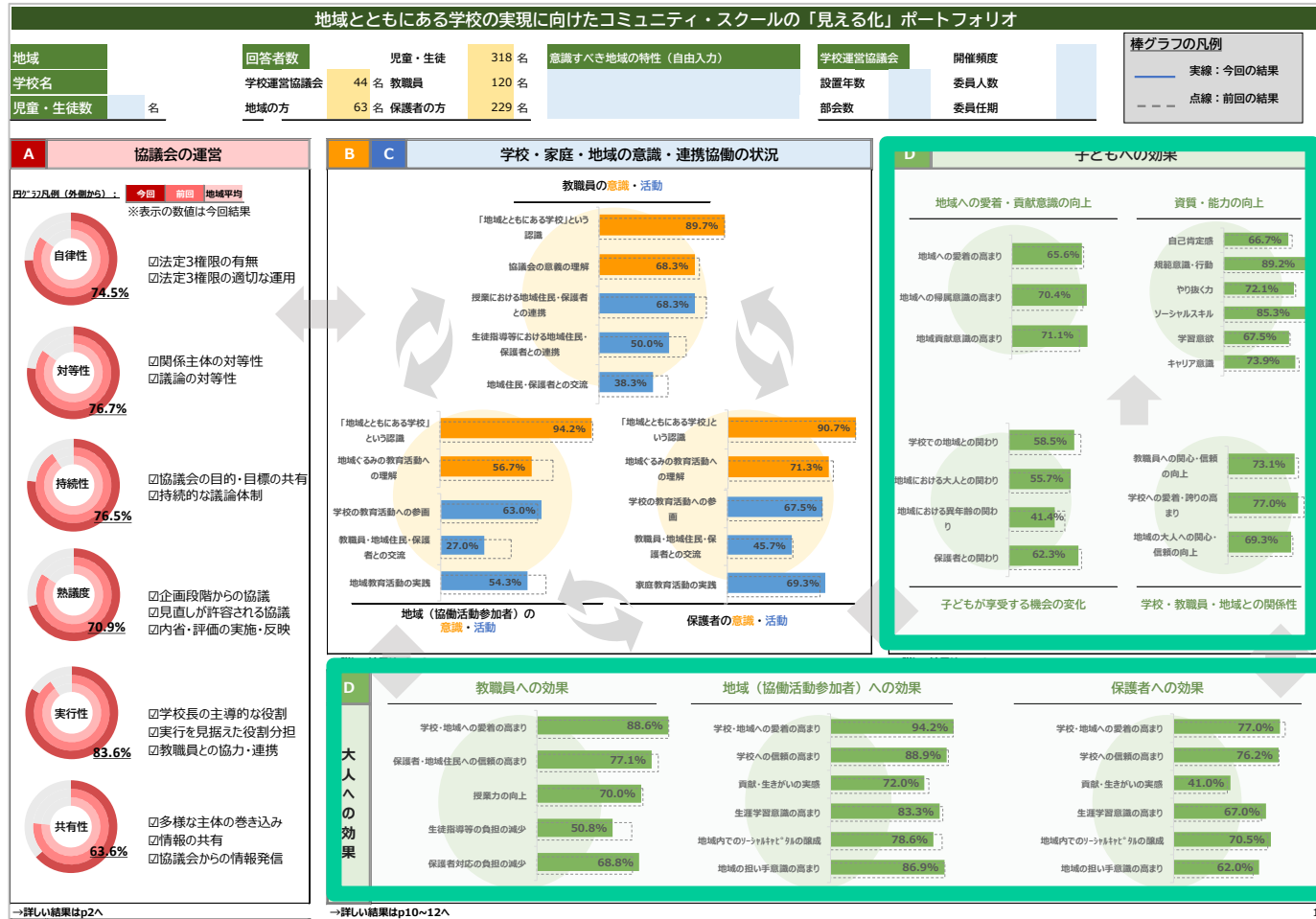
読み取りのワーク①



CSの目標に沿って指標を抽出する

◆ 注目したい指標を抽出する

- ✓ CSポートフォリオには多くの指標が含まれていますが、すべての指標で100%を目指す必要はありません。
- ✓ まずは、成果指標の中から、自校で目指す目標、大切にしていることに近い指標を抽出することが重要です。



ワーク1：CSで期待する成果とは？

CSポートフォリオ1ページ目総括表の
D：「子どもへの効果」「大人への効果」
→詳細の指標は5～8ページ

ワーク1-1（想定所要時間5分）

- あなたが関わる学校や地域では、CSを導入することで、どのような成果を期待していますか（どのような目標を掲げていますか）？それを踏まえて、CSポートフォリオのCSの成果に関する指標を見たときに、特に着目したい指標はありますか？

（例：「児童・生徒の地域への愛着を高めたいと思っている。それに関連する指標は……。」など）



ワーク1：CSで期待する成果とは？

ワーク1-2（想定所要時間5分）

- 選択した指標について、次の観点から、結果の振り返りを行ってみましょう。また、2～3人で、結果を見て気づいた点を共有してみてください。

観点①：肯定的回答の「割合（％）」は、あなたにとって、「高い」と感じますか？「低い」と感じますか？

観点②：その「割合（％）」を、あなたはどこまで「高めたい」と感じますか？

観点③：「前回調査との差」や「他地域との差」（プラスなら自校・今回が高い）はどうですか？

（例：「生徒の自己肯定感を重要な指標だと考えているが、意外と％が低い（前回調査から伸びていない）」など）

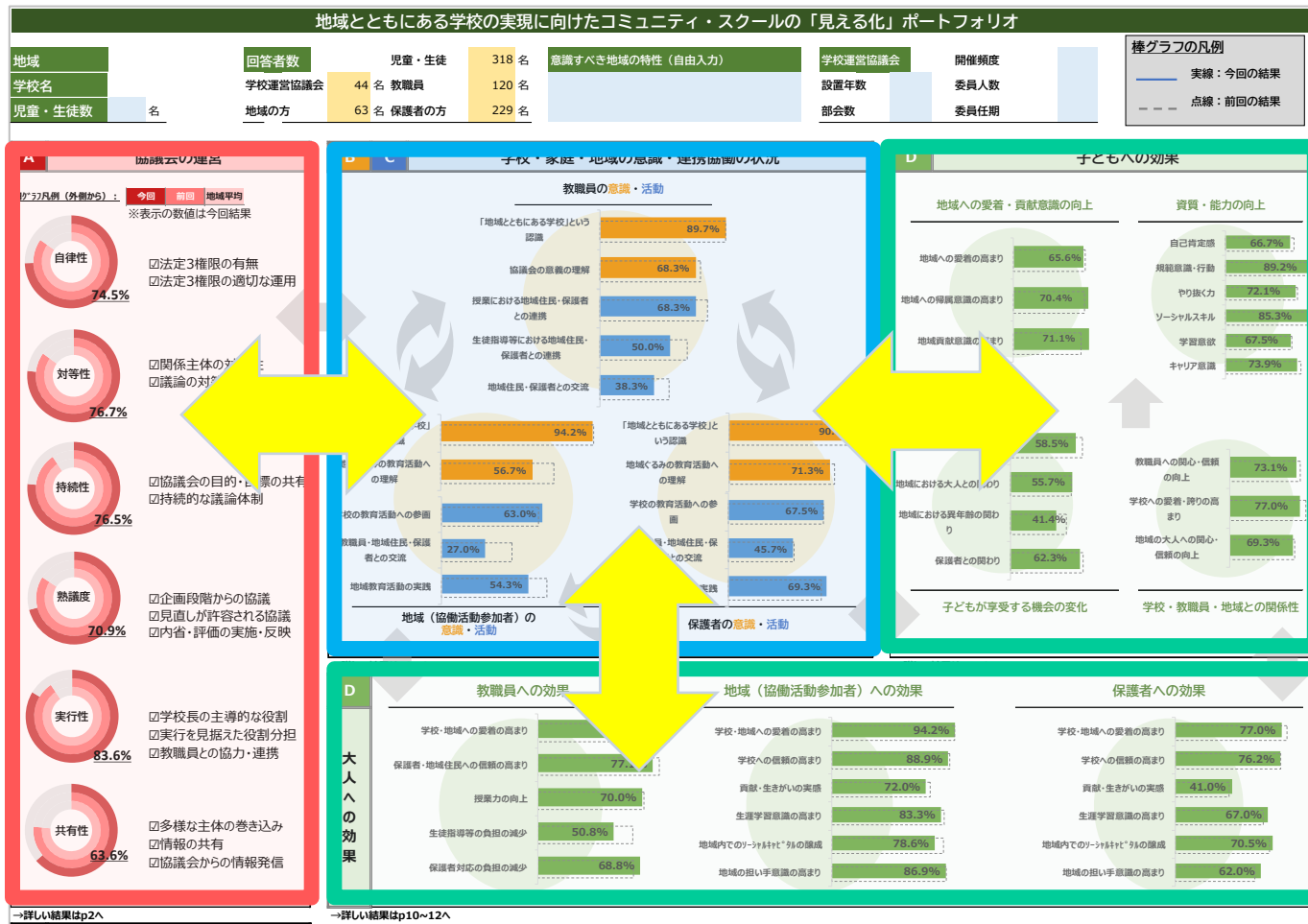


読み取りのワーク②



各要素のつながりを考えてみる

- ◆ 成果と、組織運営や関係者の意識・活動の状態とのつながりを捉える
- ✓ 成果発現までの要素間は、相互に関係することが検証されています。
- ✓ 「CSポートフォリオ」の深い読み取りのためには、要素間の「つながり」を考えることが有効です。



ワーク2：つながりの読み取り（関係者の意識・活動）

ワーク2-1（想定所要時間10分）

1ページ目総括表のBC：学校・家庭・地域の意識・連携協働の状況
→詳細の指標は3～4ページ

- ワーク1で考えたCSの成果（目標）をふまえ、CSポートフォリオの「学校・家庭・地域の意識・連携協働の状況」に関する指標を見たときに、関連する指標はありますか？

教職員の取組、地域の取組、保護者の取組など様々な視点があると思います。ご自身の立場から、思いつくものを挙げてみてください。

（例：「子どもの地域への理解を深めるために、地域住民の授業への参画を積極的に行っているはずだ。それに関連する指標は…」など）



ワーク2：つながりの読み取り（関係者の意識・活動）

ワーク2-2（想定所要時間5分）

- 選択した指標について、次の観点から、結果の振り返りを行ってみましょう。また、2～3人で、結果を見て気づいた点を共有してみてください。

観点①：肯定的回答の「割合（％）」は、あなたにとって、「高い」と感じますか？「低い」と感じますか？

観点②：その「割合（％）」を、あなたはどこまで「高めたい」と感じますか？

観点③：「前回調査との差」や「他地域との差」（プラスなら自校・今回が高い）はどうですか？

（例：「地域と協働した授業づくりを進めているつもりだったが、意外と関連する指標の％が低い（前回調査から伸びていない）」など）



ワーク3：つながりの読み取り（協議会運営）

1 ページ目総括表のA：協議会の運営
→詳細の指標は2 ページ

ワーク3（想定所要時間10分）

- CSポートフォリオの「協議会の運営」に関する指標を見たときに、気になる項目・数値はありますか。
- その数値と関連しそうな、「学校・家庭・地域の意識・連携協働の状況」や「子どもへの効果」「大人への効果」に関する指標はありますか？

（例：「共有性の指標の%が全体的に低い。これが、教職員や地域・保護者の意識が伸び悩んでいるのとの関係があるのではないか。」など）



おわりに



評価結果を「次の一手」に繋げる

- ☑ 評価は実施して終わりではなく、評価結果をもとに、「次の一手（取組の改善）」につなげることが重要です
- ☑ 是非、各校の関係者の皆様で結果を共有し、「次の一手」を検討するための手掛かりとしていただければと思います
- ☑ 「次の一手」は一人で作り上げることはできません。関係者の皆さんで対話をしながら、考えてみてください！



CSポートフォリオを、各校・地域のCS運営に役立てていただくと幸いです。

